



プレスリリース No. 12/312

国際通貨基金

即時公表

2012年9月14日

IMF 英文エッセイコンテスト 2012 最優秀者発表

国際通貨基金（IMF）は、財務省および日本銀行との共催で「IMF 英文エッセイコンテスト 2012」を実施し、本日入賞者および最優秀者を発表した。このコンテストは、10月9日から14日に東京で開催される IMF・世界銀行年次総会の Youth Dialogue（ユース・ダイアログ）に参加する日本人学生を選考するために行われた。

“Youth Perspectives on the Global Economy and the Role of the IMF（若者の視点で考える世界経済および IMF の役割）” というテーマで行われたコンテストには、日本および海外から計 96 本のエッセイが寄せられ、厳正な審査の結果、8 名が入賞者として選ばれた。入賞者は、9月10日に東京で行われたラウンドテーブル・ディスカッションに参加し、その中から最優秀者を選ばれた。最優秀者は、中国、韓国、シンガポール、タイの学生とともに、八木早希氏（日本テレビ、News Zero キャスター）がモデレーターをつとめる Youth Dialogue に参加する。

エッセイコンテストには、東京大学、一橋大学、金沢大学、名古屋大学、慶応義塾大学、早稲田大学をはじめとする多数の大学・大学院から応募があり、審査員を務めた日本銀行国際局参事役の福本智之氏は「エッセイコンテスト入賞者の方々の若者らしい斬新な意見と抜群の英語力に感動しました。日本の若者の国際舞台での活躍の可能性を確信した幸せな時間でした」と述べた。

当初、最優秀者は2名を予定していたが、優秀な学生が多く審査が難航した結果、最優秀賞は3名に授与されることとなった。

財務省 IMF 世銀総会準備事務局長 仲浩史氏は、「次世代の日本を担う若者に、IMF・世銀総会を肌で感じてもらいたいと思っています。エッセイコンテストを通じて、優秀な若者がたくさんいることを知って、大変心強く思いました」と述べた。

「IMF 英文エッセイコンテスト2012」最優秀者として、介田智子（金沢大学 人間社会学域 国際学類）、仲田健治（東京大学 経済学部）、潟永大典（イエール大学 化学専攻）が選ばれた（順不同、敬称略）。

上記の最優秀者に加え、下記5名が入賞者として選ばれた。平野夢香（名古屋大学大学院 国際開発研究科）、水谷勇太（東京工業大学工学部）、岡ゆづは（東京大学教養学部）、岡野航大（大阪大学大学院 法学研究科）、米本奈央（東京女子大学 人文学部）。

最優秀者は、2013年4月にワシントンで開催される世界銀行・IMF春季会合にユース・フェローシップ・プログラムの一環として招待される。詳細は[こちら](#)。